

第7回 地域づくり推進のための公共施設再編方針策定懇談会 議事録	
日時	令和2年2月14日(金) 14:00～15:30
場所	八王子市役所事務棟 805 会議室
出席者	委員：6名(和田清美座長、尾寄敏夫副座長、金山滋美委員、関口眞吾委員、豊田聡委員、村木美佐子委員) 傍聴者：なし 事務局：8名(八王子市7名、富士通総研1名)
議事項目	1. 開会 2. 議題 (1) パブリックコメントの実施結果について (2) 八王子市地域づくり推進基本方針について (3) 意見交換 3. 閉会
資料	次第 資料1 「八王子市地域づくり推進基本方針(素案)」に対する意見募集(パブリックコメント)の実施結果について 資料2 八王子市地域づくり推進基本方針(2月14日時点) 意見書

会議内容
<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) パブリックコメントの実施結果について</p> <p>事務局より、資料1をもとにパブリックコメントの実施結果について説明が行われた。</p> <p>○尾寄委員 パブリックコメントは、18名、25件が集まった。人数・件数があまりなかった印象がある。良く言えば、内容がしっかりとできている、悪く言えば市民に浸透していないと考えられる。今後は、本基本方針が浸透していくような仕組みづくりも必要と考える。 ⇒金山委員 類似したパブリックコメントは、以前、4,5件だったと思われ、それと比べると多く意見があったと思われる。市民にとっては、まだ不安感が多いと思われるため、今後、浸透させていかなければならないため、行政としてもしっかりと準備してから始める必要があると考える。</p> <p>○村木委員 資料1の3-4に記載の事務局員とは、市の担当者を示しているのか？ ⇒都市戦略課 そのとおりである。 資料1の3-6に記載の「地域別推進計画」のとりまとめは、幅広い内容となるが、これは市がまとめるのか？ ⇒都市戦略課 「(仮称)地域づくり推進会議」を開催し、その中で「(仮称)地域カルテ」等を作成し、課題設定等を行う。 ⇒村木委員 こういうものを作成すると、地域に伝えても大枠だけになってしまうため、今後、具体的に示していただくと良いと考える。</p> <p>○村木委員 一つの地域に中学校が2つあることもあるため、地域に暮らす人にとってどちらの中学校区となるのかに迷いが生じる。また、そのような地域の場合、どちらの中学校区に参加しても蚊帳の外になってしまうこともあるため、そのような地域もあるということにも配慮して取り組んでいただきたい。</p>

会議内容

○村木委員

資料1の 5-1、5-2 に記載の多摩ニュータウン地区は、町会に入会していないマンション等の住民も多いと思われ、そういう方々からの意見をどのように収集するかも問題である。また、守秘義務等がある情報をどう取り扱うか、情報を共有するかは検討しておく必要がある。

○豊田委員

3-3 に記載のファシリテーター、3-4 に記載のコーディネーター等、体制のことの質問と思われるが、回答を明確にしたほうが良いと考える。

⇒都市戦略課：庁内に地域づくりの担当所管を作るということを示している。

⇒豊田委員 担当所管を作るならば、例えば、“新たな”という言葉等、具体的に記載したほうが良いと考える。

⇒関口委員 地域づくり推進連絡会議の中で既存担当者が対応するのか、新たな担当所管を作り対応するのか明確にしたほうが良いと考える。

⇒豊田委員 現在の記載では、今と同じ体制のように感じる。記載できることがあれば、記載したほうが良いと考える。例えば、体制を充実させる等の記載でも良いと考える。

⇒都市戦略課 現時点では、庁内の体制が決定していないため、決定し公表できる段階となれば、記載することを検討したい。

○関口委員

資料1を見て、大きく違った意見は無かったと考える。この取組について、次のステップが楽しみである。

⇒和田座長 今後、具体的な施策をどう作っていくかが重要である。

(2) 八王子市地域づくり推進基本方針について

事務局より、資料2をもとに、八王子市地域づくり推進基本方針について説明が行われた。

○尾寄委員

6 ページ(2)に記載されている、“対等な立場で～”の部分であるが、これまで地域の代表が集まった会議であるものの、最後は学校側が判断することという言葉をよく聞くことがある。これでは、会議の意味が無くなってしまう。今後、対等な立場としていくためには、意識改革も必要と考える。

10 ページに記載の子供の安全対策の部分であるが、今年の台風 19 号の後にアンケート調査を実施した。そこでは、建物の 2 階に避難してくださいと言われても高齢者や障がい者には困難であったということや、車いすの方は避難を断られたといったことがあった。このため、ここでは、高齢者や障がい者という言葉も入れたほうが良いと感じた。

⇒都市戦略課 パブリックコメントでは、セキュリティ対策に関する指摘があったため、子供の安全対策を記載した。避難所と捉えれば、高齢者、障がい者への対応も必要であるため、記載を検討したい。

⇒村木委員 両方を兼ね備えた記載にしたほうが良いと考えられる。

⇒尾寄委員 子供の居場所=子供の安全、避難所=高齢者等への対応というかたちが良いと考える。

○金山委員

2 ページに記載されている計画の順番は、意味があるのか？

⇒都市戦略課 関連が深い計画として地域福祉計画を先にした。

6 ページに、“対等な立場で～”という言葉が入ったことは良かったと考える。

9 ページに、民間活用という言葉が追記されたが、一方で、資料に民間施設が記載されていない。民間の保育園等を記載しても良いのではないかな？

⇒都市戦略課 民間施設まで把握できていない。このため、地域カルテを作成する際に、把握していくことができれば良いと考える。

4 ページに、地域づくりの課題があるが、地域には課題だけでなく、地域の良い部分もある。それを伸ばしていくという表現もあったほうが良いのではないかな？

⇒村木委員 プラスの点も取り入れたほうが良いということを記載すると良いと考える。

⇒尾寄委員 4 ページの図表も、比較的良いことのほうに記載しているため、そのほうが良い。

会議内容

⇒都市戦略課 どのように記載するか表現を検討したい。

○村木委員

横文字の言葉が多いと、地域の人分かるかどうか疑問である。

⇒和田座長 専門用語は注釈が入るが、例えばワークショップとかはそう感じる。

⇒村木委員 年代によってとらえ方が違うと考える。

⇒都市戦略課 フォーラム、ワークショップ等は注釈等を検討したい。

○和田座長

地域づくりは、楽しいということを感じていただく必要がある。

○尾寄委員

13 ページのコラムについてであるが、八王子市の中にも良い取組があるため、それを載せたほうが良い。見守り活動や様々なサービス事例がある。

⇒関口委員 豊中市の事例は、周辺地域で事件があったものの、そういう地域でも、住民等が活動しているということを知らしめるということはあると良いと考える。これは削除せずに、市の取組を追記しても良いと考える。

⇒豊田委員 豊中市の取組は社協でも先進的な地域の取組である。また、近年、町会の取組が減っているが、小規模の取組は増えている。小規模の取組が増えているということを出していても良いと考える。

⇒金山委員 事例を入れるならば、ニュータウンの事例を入れられると良いと考える。

⇒都市戦略課 何をどのように掲載するかは検討したい。

○関口委員

市の他の計画におけるパブリックコメントでも地域づくりに関連する意見も出てきている。そういうことも取り込めるような仕組みにしてほしい。

⇒和田座長 小中学校等からも良い意見がでてくるため、取り入れるようにしてほしい。

⇒都市戦略課 多様な計画からも取り入れられるようにしたい。

(3) 意見交換

○豊田委員

現在、社協も関連する内容を地域と一緒に取り組んでいる。今後、本取組として市が地域へ入っていく際には、同じような内容で 2 つのことが入ると地域を混乱させてしまうため、社協と連携して取り組んでいく必要がある。

○金山委員

市には、地域の中で自由に議論してくださいということではなく、市としてこうしていくというような意見もあるとプロとしてしっかりと示してもらいたい。また、「(仮称)地域づくり推進会議」の立ち上げの際は、情報を提供する等、準備をしっかりとさせていただきたい。別の会議において、市の若手職員にも多く入ってもらったことがある。今後は、このような職員の自主的な参加もぜひお願いしたい。

○村木委員

この取組が動き出したら、市民の意見が重要となる。本懇談会に参加する市民委員等の意見が、地域の意見そのものであり、今回このような機会があって良かったと考える。

○関口委員

本基本方針が作成されて、ようやくスタートする。今後、取組を進めていくのにあたって、予算等も絡むので、市から明確なものを出しながら推し進めていただきたい。

○和田座長

今後は、本基本方針に則り、実行に移すこととなる。市では、2020 年の段階で、新しい取組へと舵をきったということとなる。地域づくりは、楽しかったり、自己実現であったりと、そのようなことを見出して、楽

会議内容

しんでいかなければ続かない。

市としては、今後、地域に入っていく際に、市内での横断的な連携をどうしていくかが課題と考える。

⇒都市戦略課 今後は 2022 年に向けた検討等の取組も始まる。また、地域づくりを一緒にやっていくということも始まる。今後は地域づくりとして、楽しいことが始まったということになるように取り組んでいきたい。

(4) その他

本基本方針は、3 月に策定予定としている。

3. 閉会

以上